

### 2018年度卒業生 学科・業種別就職状況

	農・林・漁・鉱・建設	製造	卸	小売	金融	運輸・不動産	教育・公務	マスコミ	情報通信	他の業種
経済	3.6	8.1	12.3	9.0	17.0	9.4	7.6	11.4	15.5	16.1
国際経済	2.6	12.0	16.1	4.7	11.5	13.0	8.9	1.0	8.9	21.3
法律	4.6	5.8	7.9	8.1	10.8	11.6	20.7	2.3	8.5	19.7
政治	7.8	11.6	10.1	6.2	7.8	11.6	12.4	3.9	8.5	20.1
経営	4.0	9.9	12.0	7.2	13.5	12.0	6.3	4.6	13.9	16.6
マーケティング	4.2	9.9	15.4	9.1	11.3	11.3	3.3	3.3	12.7	19.5
会計	2.7	7.4	7.4	11.7	13.9	5.3	7.4	0.5	12.8	30.9
日本語	5.7	5.7	4.3	14.3	14.4	4.3	25.8	1.4	15.7	21.4
日本文学文化	11.0	10.3	10.3	14.4	10.3	6.2	9.3	6.2	16.5	15.5
英語英米文	11.7	7.6	11.0	5.1	5.1	16.1	11.0	2.5	5.1	34.8
哲学	4.0	12.0	16.0	8.0	2.0	14.0	2.0	22.0	20.0	20.0
歴史	11.0	4.8	13.3	9.5	4.8	13.3	15.2	2.9	12.4	22.8
環境地理	9.8	14.6	4.9	4.9	9.8	14.6	7.3	9.8	24.3	24.3
人文ジャーナリズム	3.3	7.8	10.0	11.1	6.7	12.2	2.2	15.6	10.0	21.1
ネットワーク情報	2.5	4.5	4.5	3.9	4.9	3.5	3.9	8.4	51.5	12.4
心理	8.2	8.2	14.3	4.1	2.0	12.2	2.0	18.4	30.6	30.6
社会	3.7	11.9	11.0	6.4	14.7	11.9	7.3	2.8	7.3	23.0

# 18年度就職希望者就職率 7年連続上昇97.6%

今春、本学を卒業した学生のうち就職を希望した学生の就職率(就職希望者就職率)は97.6%。前年度に比べ0.7%増、7年連続の上昇となった。平成の30年間で、1989年、90年、91年に次いで4番目の高

水準となった。学部別の就職希望者数は全学部で96%を超え、現行の7学部制で卒業生が出た2013年度以降では全学部で最高を記録した。最も高いのは学部女子が100%を達成。100%になったのはネット情報女子が4年

度と比べ最も上昇した。人間科学女子は初めて。男子は経営学部の98.4%が最も高かった。卒業生全体に占める就職者の割合を示す卒業生就職率は88.1%(前年度比0.5%増)で8年連続のアップだった。学部別の就職状況では、各学科とも専門性を生かした就職先になっていく。ネットワーク情報科では教育・公務へ進んだ学生が最多だった。

### 学部別就職希望者就職率

	全体	男子	女子
経済	97.4	97.2	97.9
法	97.3	97.1	97.6
経営	98.6	98.4	98.9
商	98.0	97.8	98.3
文	96.9	97.0	96.9
ネット情報	97.8	96.8	100.0
人間科学	98.2	95.1	100.0
全学部	97.6	97.3	98.1

(%、下段は前年度比増減、点)

## 育友会就職懇談会 最新の就職動向解説 パネルディスカッションも

最新の就職動向や専修大学の就職支援体制を詳しく説明し、育友会(小林宏会長)が主催する「就職懇談会」が6月29日、神田キャンパスで行われた。ご父母・保護者、学生ら約200人



多くの会員が参加し熱心に話を聞いた

が参加。早まる就職戦線の実態や企業で採用担当をしている本学卒業生からの実践的なアドバイスを熱心にメモを取っていた。冒頭、小林会長は「学生自らが就職課に情報を取りに行くことが大切。就職をキーワードに、子どもと話をしてほしい」とあいさつ。岩瀬文人就職課長は就職活動の概要、2018年度の就職状況、本学の支援体制について具体的に説明し、「就活は職業人の出発点に立つための学びの機会。大学では、そのためのさまざまな支援体制を用意している」と話した。

最後は関心が高い公務員試験について本学公務員試験対策講座の講師、朱武英さんが「合格する策などは早めに準備しておくことが大切」とアドバイス。10年以上に及ぶ採用担当者の立場から、企業が求める学生像、面接でのPR方法などについて話した。



パネルディスカッションで体験談を話す学生



## ポイント自己開示

### OG 細田優さん講演

現代の学生気質として「素直」「自分らしさを大切に」「人間関係を重視」「チームで活躍することを好む」「信頼できる人の意見を重視する」といった傾向が強くなってきている。そんななか、企業が求める人材としては「主体性がある」「人と協働できる」「自社の風土に馴染み、活躍できる」といった三つの要素が挙げられる。多くの学生は「自分の職業観を伝えるようにしてほしい」。

就職活動ではその会社でどんなことをしたいか、活躍できるかを訴えることが大切だ。専大生の特徴として「努力家、まじめ、ストイックさ」が評価されている一方で、自己PRがあまり得意ではなく、周囲を巻き込む力が不足している。ご父母・保護者の皆さんには経済的、精神的なサポートのほか、自分自身の職業観を伝えるようにしてほしい。

## 就職活動とハラスメント

今年2月に、大手ゼネコン社員が「女性大学生へのハラスメント行為により逮捕された」と報じられ、人目につかない場所や、アルコールの店などで社員に会うことは避けたい」として、OB OG訪問アプリも重要だ。エンタリーシートや履歴書から、連絡先が知られてしまうケースがある。対策として、就職活動中の学生は、OB OG訪問アプリを駆使することで、以前よりも効率的に企業の社員に会う機会を得られるようになった。その反面、学生たちがこれらのアプリを利用する際に、一部の企業人が「本学の卒業生で、用い出会う社員の良識や人間性まで、保障することができないのも事実です。就職活動でも事態を重く見て、今年4月に就活中の学生に対して「OB OG訪問



に際しての注意」を配信し、ハラスメントに対する警戒を促しました。OB OG訪問時に企業の社員に見せたい」として、OB OG訪問アプリも重要だ。エンタリーシートや履歴書から、連絡先が知られてしまうケースがある。対策として、就職活動中の学生は、OB OG訪問アプリを駆使することで、以前よりも効率的に企業の社員に会う機会を得られるようになった。その反面、学生たちがこれらのアプリを利用する際に、一部の企業人が「本学の卒業生で、用い出会う社員の良識や人間性まで、保障することができないのも事実です。就職活動でも事態を重く見て、今年4月に就活中の学生に対して「OB OG訪問

対策室員・岩瀬 文人